

ドライバーの五感に、しなやかに反応する。
パワーのほとばしりをタイヤに伝える、そのインターフェイスで
人は、意のままにコントロールする悦びを味わう。

右足の動きに呼応し、

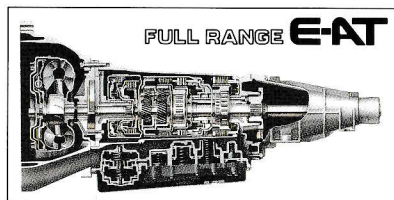
なめらかにギヤチェンジ。画期的な

フルレンジ電子制御オートマチック(E-AT)

まるで人の心の動きを読みたかのように、
走りにあわせて最適なシフトスケジュールを
自動的にチョイスする最先端のオートマチック。
それがフルレンジ電子制御オートマチック
<E-AT>である。電子制御によって
変速ショックをほとんど感じることなく
なめらかにつながり、

思いどおりのギヤチェンジが行なわれていく。
心地よい走行フィーリング、スムーズな
シフトフィーリングはまさに最先端にふさわしく、
より人間の感性に近づいてきた。

これは、車速、温度、スロットル開度、そして
エンジン回転数などの情報をそれぞれの
センサーから集め、コントロールユニットで
解読してきめ細かく電子制御するシステム。
1速～4速(ロックアップを含む)すべての
ギヤチェンジタイミングを自動化している。



ホールドモードスイッチ付の新機構

操作フィーリングにはデザイナーの良心が...

シートに座ったままシフトレバーを握る。
その時の腕の位置、握りの感覚までも考慮した
人間工学的なエルゴノミックデザインの
シフトレバーを新設計。さらに
シルビアのフルレンジ<E-AT>は
ホールドモードがついた最先端の
オートマチックである。すなわち、
市街地などにおける通常走行時の
「オート」パターン、

登坂時や追い越し時などの急加速時における
動力性能を重視した「パワー」パターン、そして
固定したいギヤを「ホールド」するパターンの
3つのモードが選べる。

このホールドモードを使えば、
オートマチックでもマニュアル感覚の
スポーティなシフトワークが楽しめるほか、
雪道での発進にも便利である。また、
ODキャンセル機能を独立させてあるため、
パワーパターンでもOD走行が可能となっている。



スポーティなシフトフィール

5速フロアシフト

リズムカルなリストワークとフットワークとの連動こそ
ドライビングの醍醐味である、
という方に用意された5速フロアシフト。
その操作フィーリングはきわめて軽く、
なめらかである。これは、新開発の
ダブルコーンシンクロを採用したため
従来と同じスペースでシンクロ容量を

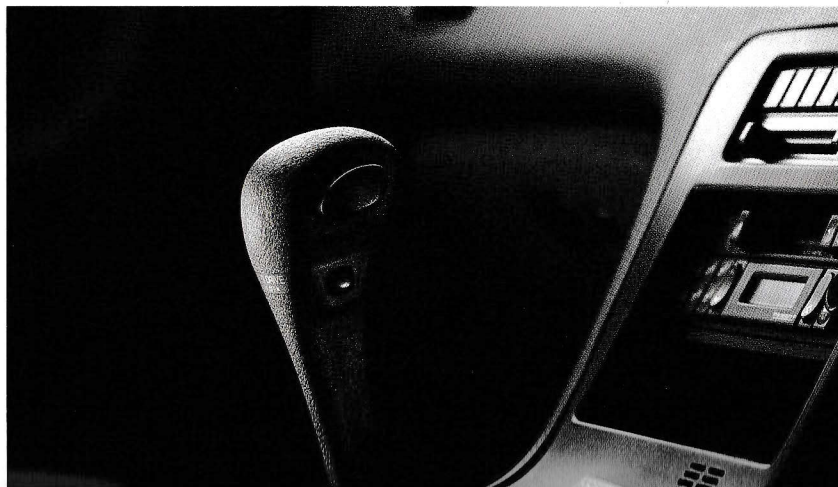
約2倍近くにアップさせてある。また、
レバー剛性やミッションオイルの改良などに
よっても操作フィーリングを向上させ、
スポーツライクな走りに
軽やかなシフトチェンジで応えている。



タイヤが路面にしっかりとくいつく

ビスカスLSDが安定した走りを実現

マルチリンクリヤサスペンション、HICAS-II
そしてこのビスカスLSD、
さらにアンチスキッドブレーキを加えた
走りのシステムはまさに現在望みうる
理想的なメカニズムの組合わせといえる。
ビスカスLSDは175馬力のハイパワーを
余すことなく路面に伝達し、
FRの走りの楽しさを心ゆくまで味わえる
システムとして装着された。

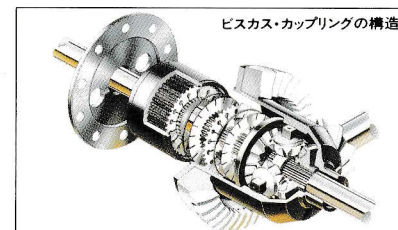


ビスカスマジック!とその機能と働きが話題の

「ビスカス・カップリング」は

内部に粘性の高いシリコンオイルを封入した
自動クラッチのようなもので、
このオイルの粘性を利用して

トルクの伝達度合いを最適にコントロールしている。
後輪駆動のシルビアはリヤビスカスLSDとして
後輪左右の回転差に応じ、トルクを再配分。
いかなる路面状況でも確実に
トルクを路面に伝えることが可能となる。(K's)



高いグリップ力

ビスカスの魔法が走りを一変

理想的なトルク配分とLSD(差動制限装置)の
機能をそなえたリヤビスカスLSDは
シルビアにさまざまな走りの革新をもたらした。
例えばハードコーナリング中の内輪空転の防止。
駆動力が確実に路面へ伝わるため、
旋回スピードも高く維持できる。
なめらかなパワースライドへの移行は
腕次第である。また、
雪道などのすべりやすい路面でも
安定した走りを発揮、差動制限効果によって
スリップが軽減され、雪道発進も容易となる。

